

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公開番号】特開 2003-215712 (P2003-215712A)
 【公開日】平成 15 年 7 月 30 日 (2003.7.30)
 【出願番号】特願 2003-785 (P2003-785)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/16 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/16

G 0 3 B 21/14 E

H 0 4 N 5/64 5 0 1 D

H 0 4 N 5/64 5 4 1 J

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 10 日 (2006.1.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】通気孔を含むハウジングと該ハウジング内に配置されたランプとを備える装置の通気孔と共に用いられるカバー構造であって、前記通気孔から放射される光を遮断すべく該通気孔に対応する第 1 デバイスであって、当該第 1 デバイスから漏出する放射光の一部は漏出光を形成する第 1 デバイスと、前記第 1 デバイスは少なくとも一枚の第 1 翼板及び少なくとも一個の第 1 開孔を備えることと、前記漏出光を遮断すべく前記第 1 デバイスの外側に配設された第 2 デバイスと、前記第 2 デバイスは少なくとも一枚の第 2 翼板及び少なくとも一個の第 2 開孔を備え、前記第 2 翼板は前記漏出光を遮断すべく前記第 1 開孔に対応し、かつ同第 1 開孔内を通過すると共に、互いに隣接する二枚の第 1 の翼板間に配置されるカバー構造。

【請求項 2】前記第 1 翼板は前記第 2 翼板に平行である請求項 1 に記載の構造。

【請求項 3】前記通気孔を通過する空気流を前記第 1 翼板及び前記第 2 翼板は協働して導向する請求項 1 に記載の構造。

【請求項 4】通気孔を含むハウジングと該ハウジング内に配置されたランプとを備える装置の通気孔と共に用いられるカバー構造であって、前記通気孔から放射される光を遮断すべく該通気孔に対応する第 1 デバイスであって、当該第 1 デバイスは少なくとも一枚の第 1 翼板及び少なくとも一個の第 1 開孔を含み、当該第 1 デバイスから漏出する放射光の一部は漏出光を形成する第 1 デバイスと、前記第 1 デバイスの外側に配設された第 2 デバイスであって、少なくとも一枚の第 2 翼板と、前記第 1 翼板の通過を許容する少なくとも一個の第 2 開孔とを含む第 2 デバイスとを備え、前記漏出光を遮断すべく、前記第 2 翼板は前記第 1 開孔に対応すると共に、前記第 1 翼板は第 2 翼板に平行に配置されたカバー構造

。

【請求項 5】前記通気孔を通過する空気流を前記第 1 翼板及び前記第 2 翼板は協働して導向する請求項 4 に記載の構造。

【請求項 6】通気孔を含むハウジングと、前記ハウジング内に配置されたランプと、前記通気孔から放射される光を遮断すべく該通気孔に対応する第 1 デバイスであって、当該第

1 デバイスは少なくとも一枚の第 1 翼板及び少なくとも一個の第 1 開孔を含み、当該第 1 デバイスから漏出する放射光の一部は漏出光を形成する第 1 デバイス、及び、前記第 1 デバイスの外側に配設された第 2 デバイスであって少なくとも一枚の第 2 翼板と少なくとも一個の第 2 開孔とを含む第 2 デバイスを含むカバー構造とを備え、前記第 2 翼板は前記漏出光を遮断すべく前記第 1 開孔に対応し、かつ同第 1 開孔内を通過すると共に、互いに隣接する二枚の第 1 の翼板間に配置される画像出力装置。

【請求項 7】前記第 1 翼板は前記第 2 翼板に平行である、請求項 6 に記載の画像出力装置

。

【請求項 8】前記通気孔を通過する空気流を前記第 1 翼板及び前記第 2 翼板は協働して導向する請求項 6 に記載の画像出力装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

最近における情報プレゼンテーションの動向はマルチメディア手法に向けられており、この動向においては画像出力装置が欠かせない。この分野においては、投影器、オーバーヘッド・プロジェクタ及びスライド映写機などの多くの種類の画像出力装置が在る。しかしこれらの装置は全て、装置内のランプにより生成される熱の放出に関する同様の問題がある。このような技術は特許文献 1 及び特許文献 2 に開示されている。

【特許文献 1】 米国特許第 5 9 9 3 0 0 8 号明細書

【特許文献 2】 米国特許第 5 8 4 2 7 6 1 号明細書